

～台湾旅行記～

弁護士 田中 勇輝

昨年12月、約3年ぶりに海外旅行に行ってきました。行き先は台湾で、3泊4日で行ってきました。

台湾自体は3回目となりますが、今回は、いわゆる台中、台南まで足を伸ばしてみました。台湾は、地図上でも沖縄より少し先といったところで、飛行時間は、約2時間半です。

まず、コロナ禍での初めての海外でしたので、入国が本当に大丈夫なのか、滞在中も観光ができるのかなど大変心配でした。ネット情報で、滞在中も自主防疫、つまり自主的に感染対策をしていれば大丈夫と見て、それを信じてひとまず突撃しました。が、行ってみれば、まったく問題はなく、空港で検査キットを渡され、後は自分でやっておいてねという感じでした。しかし、マスクについては大変厳しく、子どもが顎マスクになっていただけで、保安員のようなおそらく行政の職員のおじさんが、大声で怒鳴って近づいてきました。外出時もマスクをしていない人はほぼゼロという感じでしたね。

台湾旅行といえば、一般的には台北という台湾の中で最北にある都市に行かれると思います。私も1泊目、2泊目は、台北に宿泊しました。

主たる目的は、台湾グルメでしたので、1日目は、ホテル近くの中山駅にある「無老鍋」という火鍋を食べました。

2日目は、台北から電車で北に40分ほど足を伸ばし、「淡水」という観光地に行きます。台北はビル群でかなりの都会ですが、淡水はまだジャッキー・チェンの映画で観るような発展途上国の街という感じでしょうか。いわゆる屋台街もありましたが、川沿いのきれいな街でした。

そこから少し南に戻り、次は「北投（ Beitou）」という台湾唯一の温泉地です。温泉は入らず、足湯にだけつづけてみました。

その日の夜は、台北に戻って、日本で言う北京ダックを頂きます。店名は「享鴨」というお店です。北京ダックは、ダックの皮だけを、ライスペーパーのようなもので巻いて食べるのですが、台湾では、広東ダックと言って、中身のお肉もしっかり食べるのです。しかも、日本では超高級料理となってしまうのですが、台湾では割とお手頃な価格で食べられるので、非常



高雄の屋台



享鴨

に良かったです。ただ、今回の旅行中どこもそうでしたが、やはりインフレと円安のおかげで、そこまでお手頃とは言えないのが残念でした。

3日目は、いよいよ、台湾高速鉄道という日本で言う新幹線に乗って、南へ下っていきます。目指すは高雄という台湾第二の都市と呼ばれるところでしたが、1時間ほどで途中下車して台中という台湾の真ん中あたりに位置する都市で降ります。



台湾新幹線

ただ、台中は、高速鉄道の台中駅と、中心部の台中駅がバスで40分と大変離れていたため、お昼ご飯を食べに行っただけになってしまいました。「沈園春」という小籠包の有名な台湾料理店に訪れました。ネット情報では、初代台湾総統である蒋介石も度々訪れたとか。小籠包に台湾風スベアリップに、チャーハンと一般的な台湾料理を食べましたが、ここは大変美味しかったです。

台中について感想を言うと、もちろん栄えてはいますが、台北とは随分違い、まだそこまで発展してはいないという感じでした。

その後さらに1時間半ほど台湾高速鉄道に乗り、高雄に到着。高雄を満喫する予定が到着したらもう5時過ぎになってしまっていたので、夜市に行き、また台湾料理を食べ、泊まって終わりになってしまいました。ここで食べた台湾料理店は「海王子」というお店です。海鮮がメインで、ここで食べたからすみチャーハンは大変おいしかったです。からすみは日本ではなかなか食べられませんが、台湾は名産らしく、気軽にできます。正月に珍味として食べるくらいでおいしいと言われると今までそこまでおいしいと思ったことはなかったですが、チャーハンと合うんですね。

正直今回は、移動と食い倒れという感じにしましたが、3年ぶりの海外はやはり良かったです。国内と違う非日常を感じることが出来ます。台中や高雄の栄えていない感じや夜1人では歩けないねというヒヤヒヤする感じも日本では味わえない雰囲気です。私は日本にいる時も、中華ばかり食べていますので、台湾料理ばかりでもまったく飽きは来ませんでした。台湾は、八角なのか他の香草なのか良く分かりませんが、いろいろな食べ物に八角の味がしますし、駅なんかでも八角の匂いがします。最初は違和感がありますが、慣れてくると全然気になりません。

コロナ禍、円安の影響もあり、まだまだ海外に気軽に行ける状況ではありませんが、また、隙を見て、行ってみたいと思います。